

質問回答

2015年3月17日

モンゴル国新ウランバートル国際空港の人材育成及び運営・維持管理能力向上プロジェクト【有償勘定技術支援】

(公示日:2015年3月4日)について、業務指示書に関する質問と回答は以下のとおりです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	全体	通訳を複数準備する必要があると考えておりますが、宜しいでしょうか。	各分野の専門家の派遣時期やタイミング等を考慮し、通訳についても適切な人員配置をプロポーザルにてご提案ください。
2	全体	現地で使用する資料をモンゴル語へ翻訳する必要がある場合は、見積金額に影響しますので、ご教示頂けますでしょうか。	本業務では、現地で使用する資料の言語をモンゴル語に指定していません。ただし、実施機関の技術習得効率化のため補助的にモンゴル語で資料を作成することを妨げるものではありません。モンゴル語資料の必要性についてもご検討いただき、プロポーザルにてご提案いただくとともに、必要な費用を見積に計上してください。
3	全体	現地説明資料の言語は「英語」の認識で良いでしょうか。	現地説明資料は、本業務の報告書等の一部であると考えますので、業務指示書に記載の通り、和文及び英文で作成してください。ただし、実施機関の技術習得効率化のため補助的にモンゴル語の資料を作成することを妨げるものではありません。
4	全体	モンゴル側のカウンターパートが十分に整備されない場合は、実施する効果が薄れると思われるので、提案内容のスケジュール見直し(例:2015年予定していたものを2016年に変更する等)をすることは可能でしょうか。	業務指示書第2の「5.(3)プロジェクトの柔軟性の確保」に記載の通りです。提案内容のスケジュール見直しについても例外ではありません。
5	本邦研修	本邦研修において、新空港と同規模の地方空港研修を組み込んでも問題無いでしょうか。	本邦研修の実施場所について特に制限を設けておりません。本プロジェクトの目標や成果に到達するために、最も効率的かつ効果的な研修プログラムをプロポーザルにてご提案ください。

以上